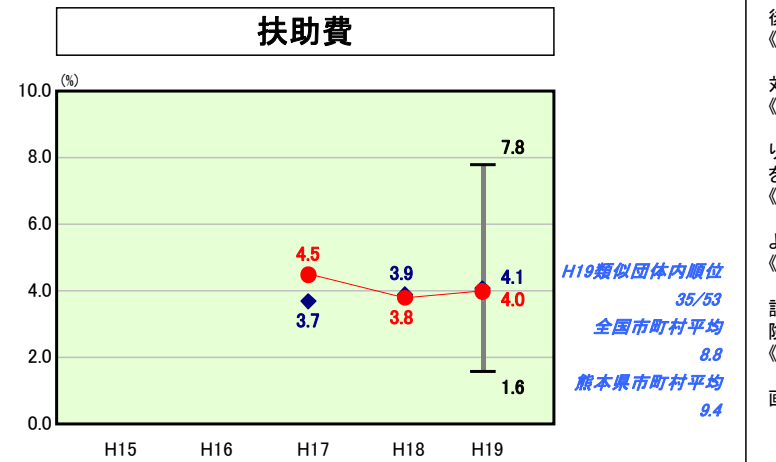
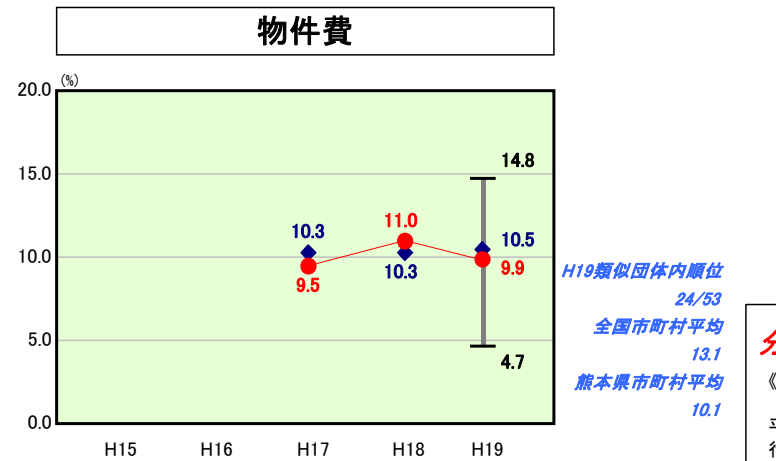
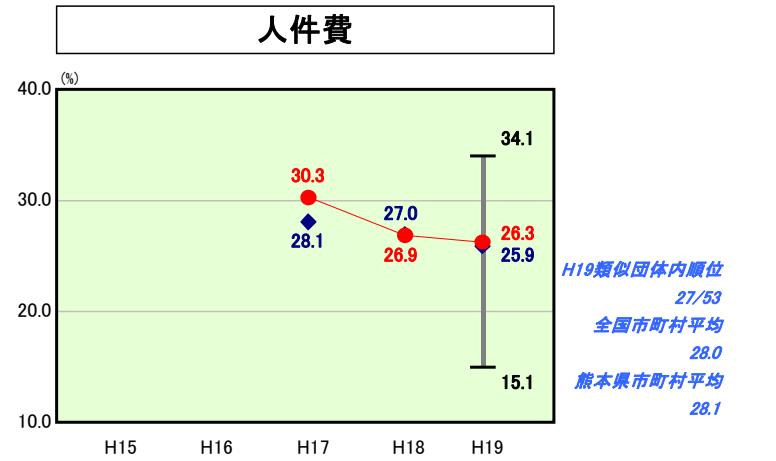
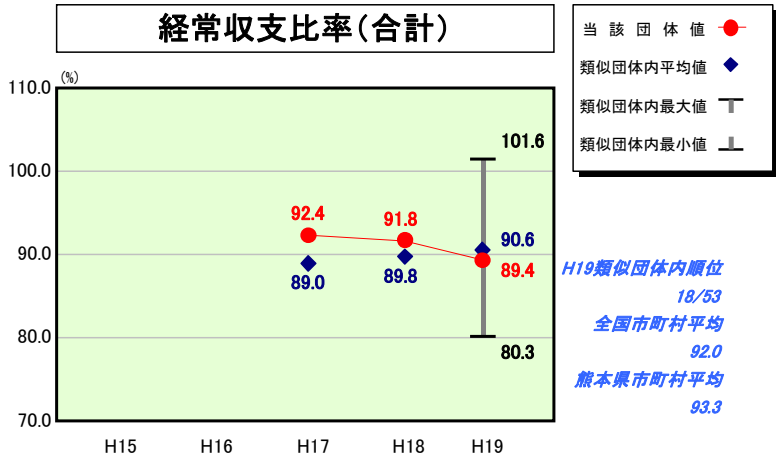


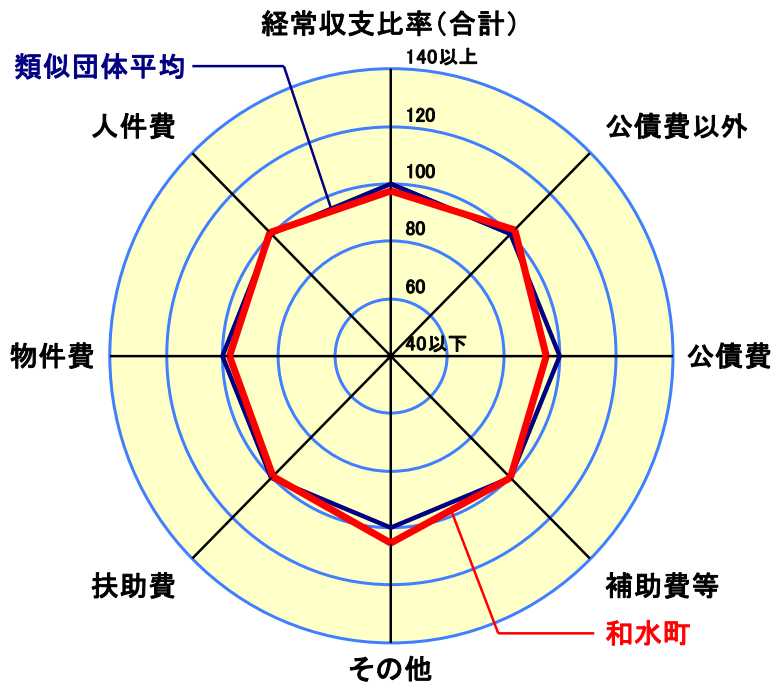
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 和水町

経常収支比率の分析



人口	11,967 人(H20.3.31現在)
面積	98.75 km ²
歳入総額	6,080,444 千円
歳出総額	5,658,404 千円
実質収支	422,040 千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

《人件費》
平成18年3月1日に合併し、H17年からH19年まで順調に人件費の削減は行われているが、H19年度は類似団体平均と比較すると少し高くなっている。今後も集中改革プランに添った(退職者の1/3以内の新規採用)改善を図って行く。

《物件費》
合併効果やH19年度に実施した旅費規程の見直しの効果もあり、類似団体平均よりも低い数値となっている。今後も数値が前年度対比以上にならないように改善して行く。

《扶助費》
扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均よりも若干低くなっているが、比率は上昇傾向にある。少子高齢化対策費での支出増が関係しているが、財政を圧迫することがないように留意して行く。

《補助費等》
補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均と同数値となっているが、各種団体への補助金が多額になっており、比率も上昇傾向にある。今後は、合併後の各種団体の統合を推進し、関係団体と協調しながら補助金の見直しを図って行きたい。

《公債費》
合併後、計画的に削減しているので減少傾向にあり、類似団体平均よりも低い数値となっているが、全国・県平均よりも数値が高い状況にあるので、引続き起債の新規発行を抑制しながら数値の減少に努める。

《その他》
類似団体平均よりも高い数値となっているのは、繰出金が影響しており、医療・介護保険や簡易水道・下水道施設への維持管理経費の繰出が多額となっている。今後は、下水道会計については未加入者の加入促進、医療保険会計については健康増進と予防事業を進めて医療費の適正化を図って行く。

《普通建設事業費》
類似団体平均よりも低い数値となっている。教育施設の改修等で年度ごとにバラつきが出て来るが、町の振興計画に添って計画的に進めていく。

